



県ホームページ (URL http://www.pref.yamagata.jp/regional/okitama_bo) でもご覧頂けます。

令和 2 年 8 月 3 日 発行 発行元 / 山形県置賜総合支庁 No.171

クイズで知ろう!

置賜の橋 いまむかし

川に隔てられた地域と早く安全に行き来ができる橋は、日々の生活にも、地域の発展にも欠かせないものです。では、置賜で今も県道として利用されている最古の橋はどこでしょう。また、今年開通を予定している主要地方道長井白鷹線の新しい橋の名称はご存じですか。

特集

大雨災害 知事視察



7月27日(月)から29日(水)にかけて、梅雨前線や低気圧が停滞したことで広い範囲で豪雨となり、県内全域で甚大な被害が発生しました。

置賜管内でも、長井市で24時間雨量が観測史上最大を記録するなど、大雨による低い土地での浸水や河川施設等への被害が出ました。



吉村知事は、白鷹町滝野で発生した国道348号の崩落現場を8月2日(土)に視察し、地元首長などから説明を受けながら被害状況を確認しました。崩落の規模が大きいことから、復旧工事も大規模なものになると想定されますが、関係機関と連携しながら全力を挙げて復旧に取り組んでいきます。

■総務課 電話0238-26-6007

トピックス 持続可能な社会を目指して — 全国初 肥育牛による発電 —



7月17日(金)、飯豊町添川で、東北おひさま発電が整備した「ながめやまバイオガス発電所」の竣工式が開催されました。この施設では、隣接の畜産業者からの排せつ物等を原料に、年間で一般家庭約900世帯分の電力を発電することができます。式典には吉村知事や後藤飯豊町長、渡辺総合支庁長など関係者約50人が出席しました。吉村知事は、挨拶で「本県ならではの特性・資源を活用した「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現にも大きく貢献していただけるものと確信している」と期待を寄せました。

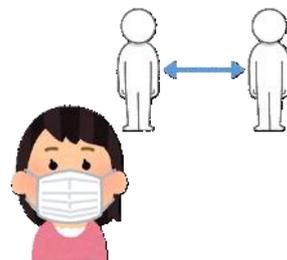
■農業振興課 畜産振興担当 電話0238-26-6053

県民の皆様へのお願い

感染拡大を予防する「新しい生活様式」の徹底

山形県では、感染防止と経済活動の回復を両立させていくため、「山形県『新・生活様式』宣言」を発表しました。これは、感染防止の基本となる「新しい生活様式」の普及・定着を推進し、県民の皆さんや事業者の皆さん、市町村と一緒に、新型コロナウイルスの感染防止に取り組んでいくことを宣言するものです。

今後も「人と人との距離の確保」や「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策の継続など、「新しい生活様式」を実践していただきますようお願いいたします。



置賜農業高校生とタッグを組んで田んぼの生き物を調査！



学識経験者に捕まえた昆虫を
確認してもらう高校生

県では環境に配慮した農業農村整備を実施するため、学識経験者、地元農家、土地改良区、市町村と協力し、水田や水路に棲む生き物や周辺の植物を調査しています。今回は、農地整備について学ぶ置賜農業高校2年生と連携し、川西町大塚の水田に生息する生き物を調査しました。

大塚地域では住民が中心となって絶滅危惧種の蝶「チョウセンアカシジミ」の保護に取り組んでいますが、今回は残念ながら採捕できませんでした。それでも、タモロコ、ナマズ、ハグロトンボほか約200種の生き物や植物が確認され、自然の豊かさを高校生と一緒に再認識する機会となりました。

今回の調査を踏まえ、環境に配慮した事業計画を検討していきます。

■ 農村計画課 企画担当 電話0238-26-6056

健康で快適に暮らせるモデルハウス 飯豊町に完成



県立置賜農業高校飯豊分校跡地で飯豊町が住宅地の分譲を行っている「エコタウン椿」に「やまがた健康住宅」の認証を受けた飯豊型エコハウスのモデル住宅が完成しました。

「やまがた健康住宅」は、住宅内のヒートショックを防止することや断熱性能と気密性能を兼ね備えることによりエネルギーコストを低く抑えることを目的とした山形県独自の住宅基準です。これらの性能を持った住宅を山形県が認証するもので、認証を受けた住宅は、山形県の住宅支援制度を利用することもできます。

「エコタウン椿」に建築する住宅は「やまがた健康住宅」の認証を受けることが条件の一つになっています。

置賜特有の気候である夏の暑さや、冬の寒さでも室温の変化が少ない高気密・高断熱住宅をモデルハウスでぜひご体験ください。

詳しくは、左のQRコードより「エコタウン椿」ホームページをご覧ください。



■ 建築課 審査指導担当 電話0238-26-6091



保健だより



★献血へのご協力をお願いします★

新型コロナウイルス感染症の影響により、東北六県では5月下旬まで、全682台のうち235台分のバス献血に中止や変更等が発生しています。

こうした厳しい状況下でも、毎日3千人余りの患者さんが輸血用血液を必要としているため、1日当たり約1万3千人の方からの献血のご協力が必要な状態です。

献血に要する時間は30分程度で、健康な方であれば、身体への影響はほとんどありません。



みんな
来てけろっち！

血液は人工的に造ることも、長期間保存することもできませんので、全て皆様の「献血」によって支えられています。

途切れることなく命のリレーをつなぐため、皆様のご協力をお願いいたします。つながるこそ「献血」。

※置賜地区の献血日程は置賜保健所ホームページで毎月更新しています。

※状況により中止または変更になる場合もあります。

■ 保健企画課 医薬事担当 電話0238-22-3872

ポキッ

置賜保健所 献血

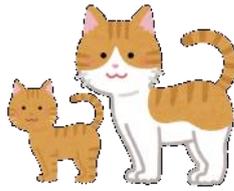
検索

知って得する情報

♪ 猫が庭などに入らないようにする方法 ♪

猫の被害にお困りの方へ

置賜保健所では、猫を捕獲することはできません。個人で猫の侵入防止対策を行ってもらうこととなります。



地域での相互理解も大切

猫の世話をしている人に地域の方が困っていることを理解していただくことが必要ですので、一方的にならないよう、「むやみなエサやり禁止」チラシを回覧板で周知する対応も一つの方法です。チラシ等は置賜保健所にありますので、御相談ください。

猫が庭などに入らないようにするには

その猫にとってその場所が快適でなくする方法として、市販の犬猫用忌避剤や食用酢、木酢液、コーヒーかす等※を使用する方法や、猫を感知して追い払う超音波機器（ガーデンバリア）等を使用する方法等があります。置賜保健所ではガーデンバリアの貸し出しを行っております。

※臭いが出るもの、臭いのきついものもあるので注意が必要



■ 生活衛生課 乳肉衛生管理担当 電話0238-22-3750

募集案内

廃棄物適正処理・3R推進ポスターを募集します！



置賜地区不法投棄防止対策協議会では、廃棄物の適正処理・3Rの普及啓発のため、置賜地域の小学校4年生から中学校3年生を対象とした、「廃棄物適正処理・3R推進ポスターコンクール」を開催しています。

優秀作品は、不法投棄防止啓発用のポケットティッシュや看板のデザインとして活用します。また、応募者全員に参加賞もごぞいます。

8月31日（月）まで作品を募集していますので、ぜひ奮ってご応募ください。なお、コンクールの詳しい内容は、山形県のホームページをご覧ください。

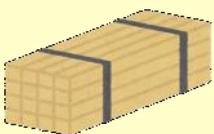
○令和元年度最優秀賞
小学生の部「通学路をよこさないで」
飯豊町立添川小学校 尾形さんの作品

置賜 廃棄物 ポスター

検索

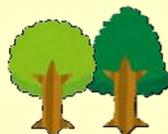
■ 環境課 廃棄物対策担当 電話0238-26-6034

県産木材を使用した新築民間木造施設(木塀を含む)への補助金のご案内



県内に自ら居住または民間施設等を運営するために、県産木材を使用して住宅や非住宅の民間施設、木塀を新設する方に対して、20万円の補助金を交付します。

補助を受けるためには、県産木材を基準値以上使用することが要件となります。詳しくは、下記QRコードより「令和2年度山形県県産認証材「やまがたの木」普及・利用促進事業のご案内」をご覧ください。



令和2年度からは木塀も対象になります！

■ 森林整備課 林政企画担当 電話0238-26-6063

「おきたま子育て応援ガイド2020年版」を作成しました！



この度、置賜地域みんなで子育て応援団では、現在子育てをされている方、これから子育てをされる方への情報誌として、置賜地域の子育て応援情報をまとめた「おきたま子育て応援ガイド2020年版」を作成しました。置賜地域の子育てに関する相談窓口、お出かけスポット、保育施設、小児科一覧など、子育て中で困ったことがあるとき、知りたいことがあるときに役立つ情報が満載です！

置賜地域の市町子育て支援担当課や置賜総合支庁子ども家庭支援課などで無料で配布しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

■子ども家庭支援課 子育て支援・女性青少年担当 電話0238-26-6027

減塩・野菜摂取量増を目指そう！

食塩摂取量の1日の目標値は8g（健康やまがた安心プラン）ですが、平成28年国民及び県民健康・栄養調査によると、山形県民は1日に10.3gと目標値より多く塩分を摂取しています。

また、野菜摂取量の1日の目標値は350gですが、山形県民は1日に285.3gと目標値よりまだまだ不足している状況です。

生活習慣病などを予防し、健康な生活を維持するために、減塩＋野菜摂取量増を目標に日々の食事を見直してみませんか。

県のホームページ「地域食生活・健康情報ステーション」には、日々の健康づくりに役立つレシピも掲載されています。下のQRコードよりぜひご覧ください。



■保健企画課 健康長寿推進担当
電話0238-22-3004

9月10日から16日は「自殺予防週間」です

置賜地域で平成30年に自殺で亡くなられた方は33人です。自殺の原因はひとつではなく、経済・生活・健康・家庭等の問題が複雑に絡み合っています。

自殺に至る直前、多くの方は「うつ病」等の精神疾患を発症していると言われ、病気により正しい判断ができない状態になっています。自殺予防のためには、早い段階で心の状態に気づく必要があります。

“眠れない”、“憂うつだ”、“好きなことが楽しめない”などの症状は心の不調のサインかもしれません。置賜保健所では、保健師の他に精神科医師による相談も行っています。ひとりで悩まず、まずはご相談ください。



■地域保健福祉課 精神保健福祉担当
電話0238-22-3015

クイズで知ろう！の答え

白鷹大橋



県道として利用されている置賜最古の橋は、南陽市小岩沢の前川に架かるアーチ式の石橋「吉田橋」です。初代県令・三島通庸の土木事業の一環として、1880年（明治13）に竣工されたものですが、今も原型を留め、自動車も通れる現役の橋として使用されています。

一方、今年6月に正式名称が決定した新しい橋は「白鷹大橋」です。白鷹町の最上川に架かる「荒砥橋」を架け替えるもので、平成27年から現橋の下流側で架設工事が始まりました。現在、年内の供用開始に向けて、着々と工事が進められています。

■西置賜道路計画課 電話 0238-88-8230